

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第2998回 例会

2015年 12月 11日

1、点鐘・握手

2、ロータリーソング「我等の生業」

3、誕生祝

・12月13日 坪野夫人

私の妻、美和子の誕生を祝って頂きましてありがとうございます。
私は3月から「あいの風鉄道」に乗って通勤しています。朝4時50分に起床し、5時40分の電車で魚津へ来ています。
うちの家内はちゃんにご飯を作って、見送ってくれています。
大変うれしく思っております。



今日は、家に帰って「お花」を渡すと共に、昨日ボーナスが来ましたので合わせて渡し、週末には、おいしいものを食べに行こうと思っています。ありがとうございました。



・12月15日 中島夫人

私の愛する妻、照子の誕生日を祝って頂きありがとうございます。
「なかなか私に追いついてくれないな～」という
「なかなか追いつくことが出来ません」と言います。
そういう会話をしながら、日々を過ごしております。
ありがとうございました。



4、会長挨拶(羽田会長)

・坪野夫人、中島夫人 誕生日おめでとうございました。

お二人の言葉のはしはしに「愛」という言葉がたくさんありました。それを少しずつおすそ分けを頂きながら聞いていました。

・先日、12月8日の太平洋戦争の真珠湾攻撃記念の日、天候に恵まれ、坪野さんにご苦労をおかけして、志賀原子力発電所の見学にいきました。

14名参加で、楽しく過ごさせて頂きました。

・発電所は異様な大きさと、あちこちにカメラがあつたりと嚴重に管理されていました。現在は発電していないが、ランニングコストがかかっていることを実感してきました。

・その後、太陽光発電所、風力発電所も見学しました。

I年間の発電量は原発の40～50分の量であると聞き、すごいと思いました。

・これも戦争が無いということが前提です。ノーベル賞も平和が続いているから研究出来るのです。カミオカンデン、スーパーカミオカンデンの研究施設に十分金が回って来ていると思います。

5、幹事報告(川岸幹事)

・理事会報告として、3000回例会記念については、

- (1)家族の方も例会と一緒に参加する。
- (2)記念品は、ロータリー・マークの付いた帽子とする。
- ・12月18日例会は臨時総会です。常任委員長の報告です。
- ・12月21日年忘れ家族例会は、現在54名の出席です。
- ・SAA補助は、坪野さん、谷川さん、根岸さんです。
- ・参考までですが、今日午前9時前道下でドクターヘリの活動がありました。



これからも農道や駐車場などアスファルトや芝生のある所に降られてきます。驚かないように！。



6、出席報告(仙丸委員長)

- ・本日の出席 25名、欠席 5名 出席率は 82.75% でした
- ・2996回の出席率は メークアップなく、71.42% 変わらずでした。

7、ニコボックスの報告(坪野委員長)



- ・青山さんより 本日は「胃がん大腸がん検診のすすめ」ということで卓話させていただきます。
- ・寺田さんより 12月8日開戦記念日に志賀原発を見学しました。帰路気多大社で昭和天皇の写真を拝し、涙が出ました。原子力の安全性を深く考えながら、車中で

お祈りしました。

- ・坪野さんより 私共の志賀原子力発電所を見学して頂き、ありがとうございました。

8、委員会報告

- ・インターアクト委員会の報告(寺田委員長)



- ・12月17日、インターアクト歳末助け合い募金活動を予定しています。アップルヒルとアピタで午後4時30分から午後6時までです。ロータリーのジャンバー着用の上、防寒してお願いします。
- その後、「お疲れさま会」を計画しています。

対外的にロータリの活動をPRする事業ですので、よろしくお願いします。

9、卓話 青山先生(青山内科医院 院長)

「胃がん大腸がん検診の勧め」ー魚津市や青山内科の統計から

- ・厚生労働省も胃がん検診に来春から内視鏡を導入する。魚津市は平成19年度から実施している。
- ・胃X線造影はデジタル化され、経年比較が簡単になった。
- ・胃がん大腸がん検診の概要は(平成26年度魚津市)
胃がんの場合、受診者 263人に1人に発見がんがある。
大腸がんの場合、受診者 400人に1人に発見がんがある。
前立腺がんは、受診者の5%に発見がんがある。
- ・魚津市胃癌検診登録施設は13あります。
医師会讀影会には11人の先生がいます。
- ・魚津市 胃・大腸がん検診統計(平成21~25年)では
胃がんの場合 受診者総数 12,856人中 63人の癌発見。
大腸がんの場合 受診者総数 12,868人中 23人の癌発見。



- 青山内科の26年度がん検診の集計では
胃の受診人数 220名の中 早期食道がん 1名、早期胃癌 1名 発見。
大腸の受診人数 173名の中 早期大腸がん 1名 発見。
- アルコールと有名人
- NBI(狭帯域光観察)の導入により 癌の発見がしやすくなった。
当院で平成26年胃癌検診で早期食道癌が発見された。
通常光観察ではほとんどわからない食道癌がNBIでは明瞭に認識される。
- がん発見のきっかけと進行度(H19~26年度 青山内科)では、
当院内視鏡検診での早期がん発見が多く、有症状の外来患者の進行がんの
発見が多い。大腸がんも同じです。
- 早期癌について、あなたはどのように思っていますか？
正解は、胃の粘膜の中だけにある癌と胃の筋肉の中まで進んでいない癌です。
- 早期胃癌は手術すると何%たすかりますか？
正解は、95%です。
- リンパ節転移のない早期胃癌の5年生存率は 93.4%です。
胃以外の臓器や遠くのリンパ節に転移がある胃癌の5年生存率は 16.6%です。
- 早期胃癌の状態はどれだけ続く？
内視鏡で見える大きさになった癌は、その後何年ほど早期の状態にいるか？
(答え)正解は 3年以上です。
ですから、1~2年に一回、胃の内視鏡検査を受けて頂ければ、ほとんど早期
胃がんの状態で見え、適切な治療をすれば胃癌で命を失う確率はかなり
低くなります。
- 症例が具体的に説明がありました。
- まとめ 1 魚津市がん検診結果の解析から
(1)がん検診では、約200人に1人の確率で胃癌があり、約500人に1人の確率で
大腸がんがあった。
(2)胃がん検診のX線検査で要精査の人の 29人に一人胃がんがあった。
(3)胃がん検診の内視鏡検査の方がX線検査よりがん発見率が高かった。
(4)大腸がん検診の便潜血検査で要精査の人の31人に一人大腸がんがあった。
(5)がん検診で要精査になったにも関わらず、精密検査を受けていない人がレント
ゲンによる胃がんでは13.6%、大腸がんでは21.5%あって、その中に3人の
胃がん、6人の大腸がんが隠れている可能性がある。
- 以上のことが分かりました。
- まとめ 2 青山内科で発見された胃がん・大腸がん患者さんのデータ解析から
(1)内視鏡検診で発見された胃がん・大腸がんはすべて早期がんであった。
(2)他施設でのX線検診で要精密検査となり当院での内視鏡で発見された胃がん
には早期胃がんも進行胃がんも含まれていた。
(3)大腸がん検診の便潜血検査陽性から発見された大腸がんはすべて早期がん
であった。
(4)腹痛などの症状で受診された患者さんから見つかった胃がんは7割は進行がん
大腸がんはすべてが進行がんだった。

・最後に

- (1)症状が出てから発見される場合は進行がんであることが多いので、無症状のうちががん検診を受け、早期発見・早期治療に結びつくようにしましょう。
 - (2)胃がん検診は、特にピロリ菌陽性の人やピロリ菌を除菌をした人は、毎年受けましょう。
 - (3)ピロリ菌の検査を受けたことのない人は、一度は内視鏡で検査しましょう。
 - (4)大腸がん検診の便潜血検査は毎年受けましょう。
 - (5)がん検診で精密検査が必要となった人は、必ず精密検査を受けましょう。
- 以上です。

10、インターアクト歳末助け合い募金活動を実行しました。

- ・魚津工業高等学校インターアクト部に協力しました。
- ・日時 平成27年12月17日 午後4時30分～午後6時まで
- ・場所、 アップルヒル、アピタ魚津店
- ・多くの買い物帰りのお客様がご協力して頂きました。ありがとうございました。





インターアクト委員長 寺田

寒い中、店頭で募金活動にご協力くださり、心より感謝いたします。

万両さんでの反省会では、「魚津工業高校」の幟旗の他に、「インターアクトクラブ」と「ロータリークラブ」の名前が入った幟があった方がいいとの意見がありました。

[あとがき]

・青山先生の卓話は、大変貴重なお話で勉強になりました。ありがとうございました。

・元禄15年12月14日は赤穂浪士四十七士が討入し、主君の復讐をし、本懐を遂げた日です。日本武士道の花であると言われてきました。（「元禄快挙録」）
魚津ロータリークラブの先輩の故榊崎哲夫先生が卓話で「討入そば」の話をされました。その内容は、榊崎先生の奥さんの実家が村木の林家です。その先祖は四十七士の中の「武林唯七」で、事件後武林家では「武」を取り「林」として今日に至っており、それを記念して、討入の日に「そば」を親戚・家族で頂きます。という話でした。

・「人生、苦である」とは、「お釈迦様のことば」です。いつの時代も大変です。

「まことに ひとの世に いつの代も 怨みによりては 怨みは 消えず
怨みより 離る かくてこそ 消ゆ これぞ とこしえの 真実 ならむ」
(ダンマパダ・発句経)

・もう間もなくクリスマスです。子供だけではなく、大人も、楽しいクリスマスです。
魚津の夜道を走るとおとぎの国のような美しい「イルミネーション」がありました。



・ポールハリス語録ーその9

ほほえみは友情のしるしです。
あなたの中に沢山あります。
しまっといままにしないで下さい。
時と場所を選び、ほほえみをかけて下さい。
その有益な効果は、永遠不滅の門に達するでしょう。
(ロータリアン誌 1934年2月号)

* 仏教の六波羅蜜の中に無財の七施があります。
七施の中に、「和顔悦色施(わげんえつじきせ)」があります。
その意味は、ニコニコして人に接することです。
ポール・ハリスの言葉は、仏道にも通じています。

あとかき 寺田

みなさん、正月事始めは12月13日でしたが、年末の大掃除は少しずつ始められましたか？
大掃除にも、始める順番があります。まず神棚の一年の埃を払って、新しい神宮大麻をお祀りし、
それから新年の準備のための大掃除をします。今まで溜め込んだ家中の汚れを掃除するというよりも、
年神様をお迎えするにあたって、家を浄めるという感覚で大掃除に臨みたいと思います。
お家を浄めたら、最後に自分自身をお浄めしましょう。
12月29日、30日、31日、午後3時より 宮津八幡宮で「年越しの大祓」を行っております。
神事では、祓いに祓って徹底的にお祓いします。どうぞ清らかな心身で新しい年をお迎えください。